

様式第4号（第11項関係）

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第1回 西脇市まちづくり推進審議会
開催日時	平成26年6月18日（月） 午後7時00分～9時20分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター 会議室2
出席委員の氏名 又は人数	直田春夫委員、岸本信子委員、村上均委員、篠田重一委員、真鍋宣征委員、黒崎晃史委員、徳丸徹委員、米田育子委員、笹倉八郎委員、清水賢一委員、松田虔委員、小林茂夫委員、吉川勝子委員、藤井久美委員 計14名
欠席委員の氏名 又は人数	大前道廣委員 計1名
出席職員の職・氏名 又は人数	西脇市長 片山象三、 ふるさと創造部長 大前悟、 まちづくり課長 柳田みどり、 まちづくり課長補佐 高瀬崇、 まちづくり課主任 和田裕行 計5名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0人
議題又は協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員委嘱 2 市長あいさつ 3 委員紹介(自己紹介) 4 概要説明 5 協議等 <ol style="list-style-type: none"> (1) 正副会長の選任について (2) 諮問 (3) 部会の設置について <ol style="list-style-type: none"> ① 部会での決定を審議会の決定とすることについて ② 部会員の指名 (4) 西脇市参画と協働のまちづくりガイドラインの概要について (5) 西脇市地区まちづくり実践補助事業及び市民提案型まちづくり事業について 6 意見交換 <ol style="list-style-type: none"> (1) 参画と協働の必要性とその意義について (2) 意見交換 9 その他(今後の予定)

	<p>(1) 第2回 西脇市まちづくり推進審議会</p> <p>(2) まちづくり活動審査部会</p> <p>① 西脇市地区まちづくり実践補助事業の審査</p> <p>② 西脇市市民提案型まちづくり事業の審査</p>
会議の記録（概要）	
発 言 者	発 言 内 容 等
事 務 局	<p>○委員委嘱</p> <p>○市長あいさつ</p> <p>○委員紹介(委員及び事務局から自己紹介)</p> <p>○概要説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料1に基づき、西脇市まちづくり推進審議会の役割等について事務局から説明
事 務 局 会 長 副 会 長	<p>○協議等</p> <p>(1)会長及び副会長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> 会長及び副会長の選出について、事務局案として会長に直田春夫委員、副会長に岸本信子委員を提示し、承認された。 <p>《直田会長あいさつ》</p> <p>まちづくり推進審議会では、まちづくり、特に参画と協働をテーマに、それが実際に動き出すよう人づくりも含め考えていきたい。皆さんとたくさんの意見や情報を出し合いながら本審議会として良い成果が上がればと思っているのでよろしくお願いしたい。</p> <p>《岸本副会長あいさつ》</p> <p>大役だが直田先生を支え、「よっしゃやるで」という気持ちで頑張っていきたい。また、この審議会を通し、自分自身の頭と心を成長させていきたいと思う。</p>
市 長	<p>(2)諮問</p> <ul style="list-style-type: none"> i 西脇市参画と協働のまちづくりガイドラインの検証・見直し ii 西脇市地区まちづくり実践補助事業及び西脇市市民提案型まちづくり事業の企画書の審査 <p>以上の内容について審議会の意見を求める。</p> <p>◇片山市長から直田会長へ諮問書の受け渡し</p>
事 務 局 会 長 委 員 事 務 局	<p>(3)部会の設置について</p> <p>①部会での決定を審議会の決定とすることについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局から資料1の6ページ「部会での議決を審議会の議決とすることについて」に基づき概要を説明 まず、部会を設置する事についてご意見を願います。 部会はまちづくり活動審査部会だけか。また部会の構成委員は部会委員と本審議会委員を兼ねるといふことによいか。 現段階では部会は一つのみを予定。委員は部会委員と審議会

<p>会 長</p> <p>会 長</p> <p>委 員</p> <p>会 長</p> <p>会 長</p> <p>会 長</p>	<p>委員を兼ねることとなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部会を設置することについて反対意見等はないか。なければ承認願いたい。 <p>◇全員賛成のため部会を設置することについて承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次に、部会での決定を審議会の決定とすることについてご意見をお願いします。 ・ 部会で審議する内容については、諮問でお受けした2つの事項の中の1つと考えてよいか。 ・ 部会で審議していただくことは2つの補助金の審査に関することとなっている。そのため、補助金の枠組みそのものについてや内容の審議については、本審議会で提案されてはどうかと思う。 ・ 部会での決定を審議会の決定とすることに反対意見等はないか。なければ承認願いたい。 <p>◇全員賛成のため部会での決定を審議会の決定とすることについて承認</p> <p>②部会員の指名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部会員の指名について、条例第8条第2項の規定により会長が指名することになっているが、補助金申請者も審議会委員に含まれているため、できる限りやり難くないように考慮したうえで決定している。また部会長は部会員の互選により定めることとなっているため部会内で決定されるようお願いする。 <p>○まちづくり活動審査部会</p> <p>小林茂夫委員、吉川勝子委員、藤井久美委員、黒崎晃史委員、清水賢一委員</p> <p>計5名で部会を構成することとする。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>(4)西脇市参画と協働のまちづくりガイドラインの概要について</p> <p>事務局提案審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この審議会では、ガイドラインに挙げている90項目について行政での検証を受け、どのように感じておられるか、また、その項目が必要か、それとも不要か、そして現ガイドラインでは欠けている視点があるのではないかということについて、率直なご意見をいただきたい。 <p>ガイドラインの見直しについては、策定後9年以上を経過していることに加え、平成25年4月1日に西脇市自治基本条例を施行したことが契機となっている。</p> <p>西脇市自治基本条例では第4条第4号において、「参画と協働による市政運営」を基本原則に掲げており、この条例を推進するためにもガイドラインの検証・見直しをし、新しいガイドラインを策定することが必要で、そのガイドラインに基づき具</p>

会長	<p>体的な取組を行なっていくこととなる。</p> <p>具体的な審議については、次回以降となるが、次回会議開催までに行政での検証結果を取りまとめて送らせていただくので検討をお願いしたい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインの具体的な取組に挙げている90項目については総合計画に近いようなよくできた充実したものだと思う。それが実際に効力をあげ動いているかは別問題で、きちんと検証していくことは必要かと思う。また、策定から9年ほど経ち、行財政も変わってきており、また市民の考え、地域のまちづくり団体なども変化が見られるところもあると思うので、総合的な視点で検証、見直しをしていくことは意味があると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 膨大なガイドラインで、作成された委員等の皆さんが熟慮され、隙なく作成されている。現状との相違点などの検証を少しずつ進めていかないと、いきなり全部を見ていくとなるとしんどい気がするので慎重に考えていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> どれだけ素晴らしい策定計画やガイドラインにしても世の中の情勢の移り変わりとともに定期的に見直していく、検証していくということは必要なかと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアグループの代表として活動している自身の境遇とてらし合わせながらガイドライン等をみてきたが、グループの意に沿った内容だと改めて感じた。我々の行っている活動はまさに参画と協働のまちづくりだということを思い、改めて活動の内容に対して自信を持たた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ガイドライン策定時に委員として関わらせていただいたが、私自身の反省として、やっぱりまだ実現できていないことが多いと感じた。今後、十分に見直しを重ね、新しい良いものを皆さんと作っていききたいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ざっとガイドラインを見たが、やはり少しずつ変わってきているところがあると感じた。例えば、環境活動をする団体などが新しく出来てきているが、そういうものをもっとまちづくりに取り込んでいくことも必要かと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 参画と協働など自治基本条例の検討をしている際に悩んだこともガイドラインを見ると、こういう目的があったんだと改めて思った。考えておられる方はいいものをよい形で捉えられているが、一方で、そんなこと市役所ですればよいと思われている市民も多いと思うので、ガイドラインはきれいにはまとまっているものの、もう少しわかり易く、取り組みやすい形に見直していく、その辺りの工夫も必要かと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 時代は絶えず流れているので、その時勢にあったものに見直していくのは重要かと思う。

委員	<ul style="list-style-type: none"> 策定当時に関わったのですがまた頭の中をリフレッシュして今一度取り組んでいきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 各種メディアを活用し、普及させていくというところで、当時なかったものとしてフェイスブック、ユーチューブ、ツイッターなどのメディアを是非活用したい。しかしこれらのメディアをどのように使いこなすかという課題は残る。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 気になるのは意識改革で、検討する側と市民との温度差は否めない。ここに参画と協働のカギがあるように思うので意識改革に力を入れてはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 参画と協働のまちづくりは市民みんなに関わり、動かしていったらというものなので皆さんと一緒に良いものになるよう考えていったらと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 西脇市に帰って来て15年になるが、以前は西宮市に20年ほど住んでいた。今でも西脇市より西宮市の方が住み良いと思っている。なぜかと考えた時に、結論はなかなかでない。参画と協働のまちづくりはとても重要で素晴らしい取組ではあるが、一方で関わる市民を縛っている面もあるような気がする。現代の時代背景などもあり、人と人が近すぎると感じる方もいるのではないか。そういった面も一度考えてみてはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 黒田庄地区は西脇市と合併してからまちづくりをみんなで協力しながらやってきているが、引き続きそういった形で支援をいただきながらやっていきたいと思っている。参画と協働について、西脇市の女性の子育て支援や働く女性の支援など、検証を重ね、パブリックコメントなど活用しながら取り組んでいけるようにと考えている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 皆さんの意見を参考に時代の変化への対応、ずれが生じていないかの検証、そして西脇市固有の背景を考慮したうえで西脇市らしいものへと変わっていくよう議論を重ねたい。また運用していく者の中での温度差を少しでも解消させていくように周知方法も含め検証を重ねたい。そして、女性の意見、若者の視点での考え方なども入れ、広い視点で考えていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 今あるガイドラインは新市合併前のもので黒田庄地区のことは考慮してなかったものだと読み取れるが、今後は旧西脇、旧黒田庄という垣根を取り払う意味も含めて、いろんな視点で入れていただけたらと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 策定期間の関係もあり、黒田庄地区のことは入っていないかもしれないが、これから視野に入れ考えていけばよい。旧西脇、旧黒田庄という枠だけでなく、各地区での地域性やまちづくり協議会の活動なども含めてそれぞれ特色を生かせるように議論していったらと思う。一般的なことだけでなく、地域ごと

	<p>の意見等をまとめられたら、面白いものができるかもしれない。</p>
事務局	<p>(5)西脇市地区まちづくり実践補助事業及び市民提案型まちづくり事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料3、4の西脇市地区まちづくり実践補助金交付規程及び西脇市市民提案型まちづくり事業補助金交付規程に沿って、西脇市のまちづくり活動に対する補助制度等について事務局から説明
会長	
委員	
会長	
委員	
会長	
会長	<p>○意見交換</p> <p>(1)参画と協働の必要性とその意義について</p> <ul style="list-style-type: none"> 別紙資料の『参画・協働』（直田会長作成）に沿って参画と協働の必要性について直田会長から説明 <p>◇意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスや福祉バスなど、交通の問題、また障害者支援の問題などを思い浮かべながら話を聴いていた。そういったところで私も考えていることがあるが、また方向性を再確認しながら考えたい。 先日、地域の活性化について話し合うことがあった。そこで活性化については個々の思いがそれぞれあり、お互いの議論の中で一つの方向性を見つけておかないと、個々の活動は進んでも地域としてはなかなか進まないと感じた。小さな地域ではあ

委員	<p>るが活動は活発に行っているの、そういったことを頭に置きながらまた議論を重ねていきたいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私自身地域の老人会の役員を務めているが、日々の活動の中で深刻な問題として感じているのが高齢化が進んでいることである。高齢人口の増加と若年層の減少に伴う様々な心配事があり、その背景を踏まえた参画と協働を皆さんのお知恵を借りながら考えていきたいと思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参画と協働については私たち青年会議所も同じような目標に向かって日々活動している。官と民とはまた一味違う進め方があるとは思いますが、手を取りあい西脇市のために進んでいきたいと思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガイドラインを一通り見せてもらった。気になったのが「市民の意識を変えて」というくだりで、このようにしようと机上で組み立て、文章にするのは簡単だ。しかし、私の40年にわたる青少年指導、指導者育成、企業内研修の社外講師などの経験から言うと、「人の意識を変える」ということは最も難しい課題だ。良い専門家や大学教授を呼んでと考えるが、呼んできて市民の意識を変えることはできない。専門家、大学教授という肩書きでは人は動かない。相手の意識を変えるとは、人の心に働きかける作業であるので、自らの在り方、姿勢、心構えが重要だ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者関係の仕事につき、高齢者に関わって長くなるが、そちらの視点から見ると細かいところで気になる部分もある。福祉バスなども走らせるまではできても、そのバス停に行くまでが高齢者にとっては大変な作業となる場合もある。いろんな分野でそういう具体的な所まで考えていく必要が出てきていると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民と市民の誇りを大事に考えるようなことを進めていけばよい方向に向かうのではないか。西脇市には全国でも誇れることがたくさんあるので、そういったところを伸ばしていけたらと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西脇市で生まれ育ってきたが、青年団や婦人会、老人会などに入り、楽しく地域の皆さんとやってきた。現代ではそういう組織がどんどん縮小し、なくなっている。だから参画と協働について色々と思いを巡らせなければならない状況になっていると思う。そういう視点で見るとまた考えられることもあると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前から地域のまちづくり活動に携わっているが、もっと大勢の人に参加してもらい裾野を広げていきたいと思う。身近な所から一緒にできるよう声をかけていきたい。いろんなアイデ

委員	<p>アを出し合い、面白いと思ってもらい、少しずつ輪が広がり地区の元気につながれば良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参画と協働を進めていく中で、根底にあるのはこれから迎える少子高齢化社会を見据え、行政と市民がどういう関係を築いていくのか、どう進んでいくのかということだと思う。市民は税金を払っているのだから行政がすればよいと思っているが、これからはそういうわけにはいかない。市民が行政を支える仕組みをつくっていったらと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ いつも西脇市がもっともっと良い街になっていけばと思いながら活動を続けています。播州織を市民みんなでもっと盛り上げて、どんどんアピールしていったらいいと思う。そういう気持ちで共有できる仲間を増やして、まちづくり活動を進めていければと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住みたいと思う西脇市づくりは非常に難しいが重要な課題だと思う。この審議会の役目として垣根を越えていいのかわからないが、ガイドラインの策定から9年経つことも踏まえ、見直しし、新しいものへと変えていく、またこれだけのことを誰がいつするのか、そんなところまで考えなければいけないのではないか。良い意見が詰まった良い冊子が出来ていると思うが、もう少し的を絞り、どう動かしていくのかという議論も必要かと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区からのまちづくりについてもやれることからやれる範囲でやってきた。皆さんボランティア活動なりまちづくり活動に参加してやることは決して嫌いではないと思う。ただやり方がわからない、参加の仕方がわからないという方が多いのではないか。そういう所も意識したやり方も取り入れ、地区からのまちづくりと行政がすすめる参画と協働のまちづくりを結びつけられたらと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆さんから頂いた意見は非常に貴重なものだと思う。それぞれの思いを留めておいて、西脇市の参画と協働を考える上での礎としていったらと思う。色々な入口があってよい。いろんな角度から入って、みんなで手を繋ぎ、行政も入り、大きな力を出していったら参画と協働のまちづくりも進んでいくことと思う。
事務局	<p>○今後の予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局から今後の予定を連絡
問合せ先	西脇市ふるさと創造部まちづくり課